

ふれあい



令和6年7月30日、A棟屋上にて『ヘリポート離着陸訓練』を実施しました。新設された屋上ヘリポートへの安全且つ円滑な離着陸の実施や患者搬送時の動線確認を目的とし、県外病院への転院搬送を想定しての訓練が行われました。

【静岡県消防防災ヘリコプター 愛称「オレンジアロー」】

- ・レオナルド社（イタリア）AW139
- ・令和元年9月より新機体（AW139）による運航を開始
- ・機体更新により、多人数の救助、高高度地帯での救助、迅速な到着等が可能に
- ・機体デザインは静岡文化芸術大学学生（当時）が考案

目次

- ① 看護部長 就任挨拶
- ② TOPICS
- ③ 歯科口腔外科 紹介



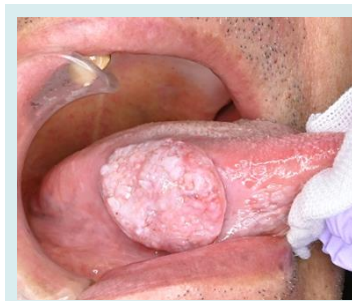
発行：浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中央区富塚町328
TEL 0570-07-1113（ナビダイヤル）
URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



① 口腔がん

当院はがん診療拠点病院として口腔がん治療に力を入れております。がん治療は年々発達しておりますが、口腔がん治療における基本は手術であることには変わりありません。当科では初期癌の診断、治療はもちろんのこと、進行し大きな切除が必要な場合にも対応しています。特に大きな切除が必要な場合には、なるべくQOLを損なわないよう形成外科と共同で再建手術（失った部分を移植などによって補う）も行っております。もちろん、手術以外の治療法についても選択することは可能です。2週間以上治らない口内炎などは初期癌の可能性があるので、一度かかりつけの先生へ相談することをおすすめします。



② 薬剤関連顎骨壊死

近年、骨粗鬆症や骨に転移した癌などに対してビスフォスフォネート製剤、抗ランクル抗体製剤（分子標的薬：デノスマブ）の投与を受けている患者様が増えています。特徴は、1週間または1ヶ月に1回の飲み薬、または1ヶ月や半年に1回の注射薬であり、非常に効果の高い薬であるため多くの患者様に投与されております。

これらの薬は全身の骨に良い効果をもたらす反面、顎の骨にのみ、まれに良くない効果を引き起こします。それは顎骨壊死（がっこつえし）と呼ばれており、抜歯や歯周炎（慢性的に歯茎が膿んでいる状態）をきっかけに顎の骨が壊死する、言い換えると骨が腐ってしまう（腐骨）ことがあります。

注意して頂きたいのは、これらの薬を投与されているからといって自己判断でお薬をやめないで下さい。効果の高い薬ですので、やめることによって骨折などの恐れがあります。そもそも顎骨壊死が生じる可能性は非常に低く、さらには定期的に歯科受診をすることで予防することもできます。全ての骨粗鬆症治療薬が当てはまるわけではありせんので、ご心配な方はかかりつけの先生へ確認して下さい。



看護部長 就任挨拶



副院長 兼 看護部長

高橋 円香

MADOKA TAKAHASHI

令和6年4月1日より、副院長・看護部長に就任いたしました。浜松医療センターは、新病院が開院し新たなスタートを切りました。当院が開設され50年。地域を支える病院として発展されてきたものを礎として、今後もより一層地域の皆さまに安心していただける質の高い医療の提供を目指して参ります。微力ではございますが、皆さまのお力添えを頂き、職務に精励する所存です。

看護部は、「地域の皆さま一人ひとりが大切にされたと感じられる看護を行います」を理念としています。医療を取り巻く環境が変化していく中で、安全と尊厳を守ることの両輪を軸に高度急性期医療の担い手として、地域医療に貢献できる看護職の育成が使命と考えます。令和6年度から、「危険予知能力を高め、患者さんの安全を守る」「患者さんの意思決定のプロセスを支援する」「高度急性期医療に対応できる臨床実践能力を高める」「働き方改革を推進し、安全で健康に働き続けられる職場を創る」の4つを看護部の目標に掲げ、取り組んでいます。

私は、看護職が患者さんの一番近くに寄り添う専門職として、笑顔でいきいきと看護を実践して欲しいと思います。看護職の働く環境を整え、どのように患者さんと看護職の安全と健康を守ることができるかが重要な課題であると考えます。私は入職から当院に勤務しておりますが、「看護を語り合うことを大切にし、互いに成長し合える」「ピンチをチャンスに変え、一丸となりチャレンジできる」ことが看護部の強みだと思います。看護部のチーム力で「KAIZEN」に取り組み、多くの皆さまから浜松医療センターを選んでいただけるよう努めて参ります。

これからも、皆さまからのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

TOPICS 1

CHECK

市民公開講座 開催

6月1日(土)、アクトシティ浜松 コンgressセンター31会議室にて、第40回 浜松医療センター市民公開講座を実施しました。今回は「よくわかる!膵臓がん」をテーマとして、消化器内科医師、消化器外科医師、がん看護専門看護師が詳しく解説しました。

講座後には参加者から「1つ1つ丁寧に説明していただき、とても分かりやすく理解することができて参加してよかったです。」などのご感想もありました。多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

動画はこちらから



TOPICS 2

CHECK

がんサロン「ひなたぼっこ」開催

がんサロンは、がん患者さんやご家族が普段悩んでいることや困っていることなど、気軽に何でも自由にお話できる場所です。同じような悩みを抱えている方と会い、体験を共有し、一緒に考えることで、心が軽くなることもあります。

次回以降は下記のとおり開催いたしますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

がんサロン「ひなたぼっこ」のご案内

14:00~14:15 ミニレクチャー

14:15~15:30 患者さんやご家族同士の交流

ミニレクチャー 2024年度の予定

9/20	爪でお困りの方へ ワンポイントアドバイス	認定看護師
11/15	緩和ケアの話	認定看護師
1/17	心の持ち方について	臨床心理士
3/21	治療を続ける体づくり ～栄養のはなし～	管理栄養士

CHECK

治療と仕事の両立支援

当院では、「がん治療と就労の両立支援対策チーム」を立ち上げており、看護師、社会福祉士、腫瘍内科専門医がチームとして連携し、皆様と相談しながら対応致します。私たちは、がんでもあたりまえに働ける社会のための一助になりたいと考えています。

がんになっても
仕事を諦めない!

私たちは
がん治療と
仕事の両立を
全力で支援します

